

令和4年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立山澄中学校		作成者	職名	教頭
電話番号	0956-31-3366			氏名	辻 義孝
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	○服務規律の意識高揚 ○体罰・不適切な指導の禁止 ○交通法規の遵守 ○飲酒運転の根絶 ○セクハラ・パワハラ・わいせつ行為の未然防止			
<u>取組の評価・改善点</u> 年度当初の学校経営説明の中で、校長より服務規律の遵守啓発を行った。服務規律委員会の発足、運転免許証、車検の有効期限（更新）等の確認を実施した。 コロナ2019の感染拡大防止もあり、酒席の開催自粛した。また、業績評価において、体罰防止宣誓を義務付けた。 職員研修において、わいせつ行為に係る事例、自己分析チェックシートの実施、部活動、生徒指導における体罰防止に関する留意事項の確認を実施した。					
7月	実施テーマ	○体罰・不適切な指導の禁止 ○個人情報セキュリティ対策の徹底 ○飲酒運転の根絶			
<u>取組の評価・改善点</u> 職員研修において、部活動、生徒指導における体罰防止に関する留意事項を確認した。 情報セキュリティに関して、生徒個人情報の学年別管理係を指名した。職員のSNSの不適切な利用の禁止、書類作成に関わる情報の校外持ち出し禁止事項について確認した。					
12月	実施テーマ	○体罰・不適切な指導の禁止 ○飲酒運転の根絶 ○公金等の不正処理の防止			
<u>取組の評価・改善点</u> 年始、年末の酒席を自粛した。冬季休業前の諸帳簿点検では、複数チェックを基本とした。特に、毒物劇物の監査については、管理職立会いのもと、理科教師全員で行った。 職員研修において、再度、部活動、生徒指導における体罰防止に関する留意事項を確認した。また、公金の処理に関わるトラブルについて事例をもとに確認した。					
2 服務規律委員会					
委員会名	山澄中学校服務規律委員会				
構成員	所属内委員（8名）、外部委員（4名 役職等：学校評議員）				
3 年間を通しての計画の達成状況					

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

イ	オ	キ	ケ						
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input type="checkbox"/> できた	<input type="radio"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
------------------------------	-----------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input type="checkbox"/> できた	<input type="radio"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
------------------------------	-----------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 不十分だった	<input type="checkbox"/> 実施していない
---------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

資料添付 有 無

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ 外部講師を招いての講話

エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ 決意表明

- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

- コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組
- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。